

若手研究者コラムリレー

石塚 創也 (いしづか そうや)



プロフィール

公益財団法人日本スポーツ協会 (JSPO) スポーツ科学研究室 研究員
日本体育学会の専門領域: 体育史

1988年 北海道旭川市生まれ

2011年 中京大学 体育学部 (現: スポーツ科学部) 卒業

2013年 愛知工業大学・中京大学 非常勤講師 (ソフトボール、バドミントン、スキー、他)

2015年 名古屋経済大学 非常勤講師 (体育史)

2016年 中京大学大学院 体育学研究科 博士課程単位修得退学

2016年 現職

2020年 中京大学大学院 体育学研究科 博士課程修了 博士 (体育学) ※ 3/20学位取得予定

スポーツ歴: アイスホッケー、バドミントン、スキー

E-mail: ishizuka-s@japan-sports.or.jp



2020ローザンヌ冬季オリンピックの視察にて

わたしの研究

オリンピック・ムーブメント史研究から 社会やスポーツのあり方を問う!

周知の通り、オリンピックには「光」だけでなく「影」もあります。特に1950～70年代には、人種差別問題や、女性の参加問題、そして環境問題が顕在化しました。私は、その中でも特にオリンピック大会の招致に伴う環境問題に関心をもち、研究を続けています。

1970年代には、国際オリンピック委員会 (IOC) は国際情勢のなかで徐々に拡大する環境保護活動に参加するようになりました。オリンピックにおいて環境保護対策が初めて行われたのは、1972年に開催された札幌オリンピックであったといわれています。札幌オリンピックでは、スキー競技の滑降種目のための競技場として、国立公園内に恵庭岳滑降競技場が建設されました。しかし、この競技場は大会終了後には競技設備が撤去され、跡地に植林が行われました。その理由として、大会組織委員会や環境保護団体、政府との協議により、大会終了後に森林を復原させる条件のもと競技場が建設された経緯があります。

ところが、50年近く経過した現在においても、コース跡に植林された地帯と周辺との調和はなされていません。この事例は、オリンピックにおける環境問題を顕在化させ、環境保護の困難さ、複雑さ、そして多様な意見を尊重した意思決定の重要性を明らかにするものでした。またこの事例は、今後のスポーツにおける環境保護、延いては積極的な取り組みが求められている持続可能性の推進に関する意思決定の手続きに示唆を与える教訓的な「レガシー」であるといえるでしょう。



恵庭岳滑降競技場コース (当時)

必読

わたしの渾身の論文・書籍・記事

石塚創也 (2015) 1972年第11回オリンピック冬季競技大会 (札幌大会) の開催準備期における滑降競技会場移転論争。IOC理事会・総会議事録およびIOCと大会組織委員会の往復文書の検討を中心に、*体育史研究*, 32: 13-26.

(なんでも帳)

JSPOスポーツ科学研究室 (通称: スポ研) の前身は、1947年に「体育医事相談所」として開設され、その後、主にオリンピック代表選手の強化拠点として医・科学サポートを行ってきました。国立スポーツ科学センター (JISS) の設置以降は、これまでのノウハウを生かしつつ、様々な研究領域から、わが国におけるスポーツ推進に資するプロジェクト研究を展開しています。また、スポーツ庁、日本スポーツ振興センター (JSC) 等の関連団体とも連携し、普及啓発事業等を通じてスポーツ界における課題の解決に向け努めています。

現在のJSPO研究員は、個人の興味関心に基づく研究を細々と進める傍ら、各専門領域の先生方のお力添えを頂き、様々なプロジェクト研究のコーディネート業務をしています。

- ・ [アクティブ・チャイルド・プログラム \(ACP\) 普及・啓発](#)
- ・ [スポーツ活動中における熱中症事故予防](#)
- ・ [LGBT等の多様な性のあり方に関する教育・啓発](#)
- ・ [アンチ・ドーピング普及・啓発](#)
- ・ [etc...](#)

当初、大学教員以外のポストに就くということが想像ができず戸惑いましたが、今となっては、様々な専門領域の先生方にご指導を頂けるという絶好の環境を与えられたことに心から喜びを感じております。

今後も、自身の専門領域を大切にしながら、様々な研究領域からプロジェクト研究を展開し、わが国におけるスポーツ推進のために精進して参ります。



○次回のコラムリレーは体育社会学の「高尾将幸」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました!

→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5a2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村)

